2 2 (許可)、第31条の23において準用する第4条(第4項除く。)(許可の基準)、第31条の23において準用する第7条の2 (承認)、第3条の23において準用する第7条の3 (承認)  集の23において準用する第7条の3 (承認)  Mac			
原権者 (委任先) 鳥取県公安委員会  法 令 の 定 め 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条の23において準用する第4条(第4項除く。)(許可の基準)、第31条の23において準用する第7条(23において準用する第7条の2(承認)、第31条の23において準用する第7条の2(承認)、第3条の23において準用する第7条の3(承認)  処 分 基 準 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条 条の23において準用する第7条の3(承認)  処 分 基 準 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条 23において準用する第4条を号に掲げるいずれかの事実が判明たときは、以下のように、速やかに提正、回復等することがでといる場合等で悪意がない又はく軽微な場合を除き、特定遊興飲食店営業の許可(承認)を取りすこととする。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第7号に該当ることとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者を密接な関係を絶とうとしているようなとき。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第12号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者解任手続を進めているようなとき。	法 令	名	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律
原権者(委任先) 鳥取県公安委員会  風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条22(許可)、第31条の23において準用する第4条(第4項除く。)(許可の基準)、第31条の23において準用する第7条の2(承認)、第31条の23において準用する第7条の2(承認)、第3条の23において準用する第7条の3(承認)  処 分 基 準 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条の23において準用する第6年に掲げるいずれかの事実が判明たときは、以下のように、速やかに是正、回復等することができかつ、現に是正、回復しようとしている場合等で悪意がない又はく軽微な場合を除き、特定遊興飲食店営業の許可(承認)を取りすこととする。 ・第31条の23において準用する第4条第1項第7号に該当ることとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者と密接な関係を絶とうとしているようなとき。 ・第31条の23において準用する第4条第1項第12号に該することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者解任手続を進めているようなとき。	根 拠 条	項	第31条の23において準用する第8条
法 令 の 定 め 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条22(許可)、第31条の23において準用する第4条(第4項除く。)(許可の基準)、第31条の23において準用する第7条の2(承認)、第3条の23において準用する第7条の3(承認)  処 分 基 準 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条23において準用する第8条各号に掲げるいずれかの事実が判明たときは、以下のように、速やかに是正、回復等することができかつ、現に是正、回復しようとしている場合等で悪意がない又はく軽微な場合を除き、特定遊興飲食店営業の許可(承認)を取りすこととする。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第7号に該当ることとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者と密接な関係を絶とうとしているようなとき。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第12号に該することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者解任手続を進めているようなとき。	処分の概	要	特定遊興飲食店営業の許可の取消し
2 2 (許可)、第31条の23において準用する第4条(第4項除く。)(許可の基準)、第31条の23において準用する第7条の2 (承認)、第31条の23において準用する第7条の3 (承認)  集の23において準用する第7条の3 (承認)  処 分 基 準 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条の23において準用する第8条各号に掲げるいずれかの事実が判明たときは、以下のように、速やかに是正、回復等することができかつ、現に是正、回復しようとしている場合等で悪意がない又はく軽微な場合を除き、特定遊興飲食店営業の許可(承認)を取りすこととする。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第7号に該当ることとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者と密接な関係を絶とうとしているようなとき。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第12号に該することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者解任手続を進めているようなとき。	原権者 (委任先)		鳥取県公安委員会
2 3において準用する第8条各号に掲げるいずれかの事実が判明たときは、以下のように、速やかに是正、回復等することができかつ、現に是正、回復しようとしている場合等で悪意がない又はく軽微な場合を除き、特定遊興飲食店営業の許可(承認)を取りすこととする。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第7号に該当ることとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者と密接な関係を絶とうとしているようなとき。 ・ 第31条の23において準用する第4条第1項第12号に該することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者解任手続を進めているようなとき。	法令の定	8	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第31条の22(許可)、第31条の23において準用する第4条(第4項を除く。)(許可の基準)、第31条の23において準用する第7条の2(承認)、第31条の23において準用する第7条の3(承認)
	処 分 基	準	<ul> <li>第31条の23において準用する第4条第1項第7号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者との密接な関係を絶とうとしているようなとき。</li> <li>第31条の23において準用する第4条第1項第12号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者の</li> </ul>
備考	問い合わせ	先	鳥取県警察本部生活安全部生活安全企画課(電話 0857-23-0110)
<u> </u>	備	考	